

## 2024年度 北陸産学技術交流会 参加者アンケート結果

### 1. 技術交流会の開催状況

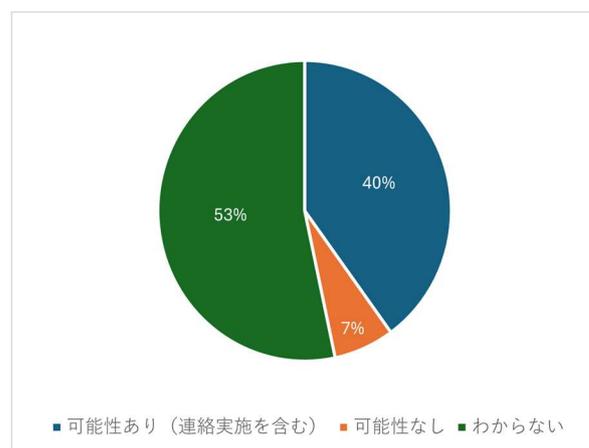
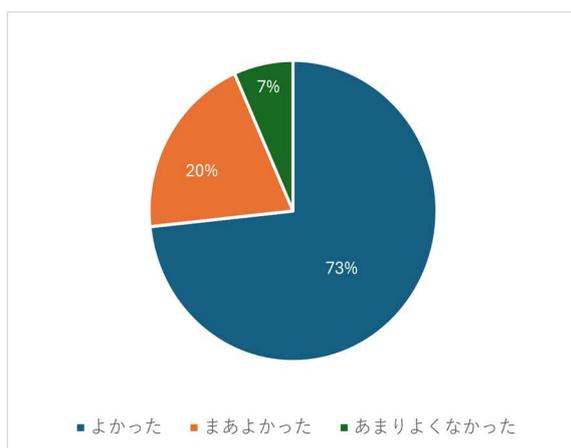
会員企業・大学に情報交換テーマを募集したところ3団体から3テーマの応募があり、提案団体（主催者）と打合せを実施した結果、2テーマで技術交流会（見学会）を開催した。（1テーマは北経連後援イベントとして見学会を開催。）

### 2. 参加者アンケート結果 [回答：15名（会員参加者17名）]

(1) 技術交流会に参加して有意義でしたか？ (2) 今後連絡をとりあう可能性はありますか？

・よかった	11
・まあよかった	3
・あまりよくなかった	1

・可能性あり（連絡実施を含む）	6
・可能性なし	1
・わからない	8



### (3) 自由意見（○：肯定、△：改善・気が付いた点）

- 普段見ることのできない施設を見学できる貴重な機会となった。
- これまで連携はなかったが、交流会で接点ができ、今後連携の可能性を感じた。
- 関心が高い技術について、有意義な情報収集ができた。
- 実際の取組みを見聞きすることができ、関心・理解が深まった。
- △参加者同士の意見交換の時間も長くってほしかった。
- △事前の質問に対するQAの時間を設け、より効率的な意見ができるとよかった。

### 3. 主催者アンケート結果 [回答：2（主催者：2）]

(1) 交流会開催の成果がありましたか？

・期待以上の成果があった	1
・まあまあ成果があった	1
・あまり成果がなかった	0

(2) 連絡をとりあう可能性はありますか？

・可能性あり（連絡実施を含む）	2
・可能性なし	0
・わからない	0

### (3) どのような成果がありましたか？

- ・実際に施設を見てもらったことで、取組内容について正しく理解してもらえた。
- ・質問も多く寄せられ、今後の連携の可能性を感じた。
- ・普段接点のない分野の方々とも連携の糸口を掴むことができた。
- ・参加者からの質問をもとに、今後予定している講演会のブラッシュアップができた。
- ・ワーキンググループを作る計画の契機になった。

### (4) 今後開催される主催者側への運営面でのアドバイス等

- ・参加者数に応じてディスカッションは班分けにするなど、工夫の余地があった。
- ・他イベントとコラボレーションする場合には、別途、名刺交換や意見交換などの時間を取れるように段取りすべきであった。

### (5) 次年度の技術交流会テーマ募集があったら再度応募しますか？

・応募したい	0
・応募を検討する	2
・応募はしない	0
・わからない	0

## 4. 事務局の評価と今後の対応案

- ・参加者アンケートでは、「よかった(73%)」「連絡の可能性あり(40%)」、主催者アンケートでは「期待以上の成果(50%)」「連絡の可能性あり(100%)」であり、オープンイノベーション促進の契機となる交流の場を提供できたと考える。
- ・主催者アンケートでは、取組みを知って頂く機会となった、参加者から情報を収集できた、連携の可能性が広がった等の成果があったと、良好な反応を得られた。
- ・本取組みは一定の評価を得ているため次年度も開催する。主催者が大学である場合や、見学施設のスケジュール調整も必要なため、テーマ募集は今年同様4月頃から開始する。
- ・改善点として、意見交換・質疑応答の時間が足りないとの意見があり、進行側でのタイムスケジュール調整も事前に打合せておく必要があると考える。

以上